

武蔵野赤十字病院が行う DMAT 活動



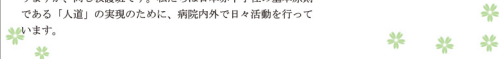
ローズ3病棟看護係長 多治見 允信

当院は赤十字病院として以前より災害時救護活動を行っています。最近聞きなれた言葉にもなってきましたが、DMAT（ディーマツト）指定病院でもあります。DMATとは災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）の頭文字を略した名称です。DMATは国が主導で、主に大規模自然災害の対応チームとして、2006年より隊員の養成が始まりました。東京都ではそれにさきかち、2004年より東京DMATという名称で、自然災害以外に、交通事故等の都市型災害に対して活動を行うチームの養成を開始し、消防とともに活動を行っています。当院では、医師7名、看護師25名、薬剤師2名、事務5名が隊員登録されています。



訓練に参加する北野正樹看護師

2019年は10月までに14件（途中引き上げ）の事案に対して活動を行いました。隊員は救命科医師をはじめ、看護師は救急だけでなく、一般病棟からも要請があれば10分以内に準備を行い出動をしています。また、台風19号災害においては病院間搬送の役割を担い、依頼後2時間以内に準備を整え、千葉に出動しました。DMATと日赤救護班の活動で何か違いがあるのかというと、そういう事はありません。養成方法や名称の違いはありますが、同じ救護班です。私たちは日本赤十字社の基本原則である「人道」の実現のために、病院内外で日々活動を行っています。



公開講座



講座名	開催日	時間	場所	受講料	申込	問合せ先
ブルおばあちゃん教室	1/15	13:00-15:00	母子保健相談室	2,000円/1人	平日15:00-16:00	産婦人科外来
がん患者・家族交流会	1/24	14:00-16:00	5階聴能多目的室	無料	事前予約15名予定	がん相談支援センター
糖尿病教室	2/1, 3/7	13:00-15:00	山崎記念講堂	無料	不要	医療社会事業課
心臓病教室	2/26	14:00-15:00	山崎記念講堂	無料	不要	循環器科外来
肝臓病教室	調整中	14:30-16:00	山崎記念講堂	無料	要予約 電話番号：山崎 電話 0422-32-3135（直通） 月～金 9:30～16:00	肝疾患相談センター

★詳しくは当院ホームページ→「病院からのお知らせ」・「公開講座・イベント」等でご紹介しています。



日本赤十字社

武蔵野赤十字病院

No.64

2020年 冬

〒180-8610
東京都武蔵野市境南町1-26-1
TEL 0422-32-3111
季刊 情報誌

Eye むさしの

頼れる病院をめざします



（左から嘉和知副院長、原口事務部長、若林副院長兼看護部長、泉院長、安藤副院長、山崎副院長）

基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

基本方針

- （1）患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- （2）地域中核病院としての機能向上を図ります
- （3）地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- （4）質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- （5）働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります



新たな年をむかえて

院長 泉 並木

あけましておめでとうございます。

昨年は自然災害が多い年でしたが、今年こそ安定した年候であってほしいと思います。わが国では少子高齢化のため医療制度が大きく改正されています。武蔵野赤十字病院は高度急性期病院として、病院の体制を整備しております。循環器や脳神経など救急医療、癌をはじめとする高難度手術や周産期医療、整形外科疾患を含めた救急医療に主眼をおいて設備や人員を配置しています。2019年度にロボット支援手術を導入し、前立腺や直腸、上部消化管、婦人科疾患のロボット手術を行い保険収載までごこつけました。神経損傷が少ない手術をめざして取り組んでいきたいと思ひます。また、ゲノム医療に対応するため、岡山大学遺伝子学教授の平沢晃教授の指導のもと、がん遺伝カウンセリング外来を開始し、さらにはがんゲノム医療外来を行い適切な治療を行っていきたく思ひています。

武蔵野赤十字病院では、病院全体で機能を高め、専門診療科が垣根を低くして高度医療を行うことを目指しています。また救急車の受け入れが年間1万台を超え急増しているため、地域医療連携を緊密に行い、転院や在宅復帰を目指した体制を強化していきたいと思ひています。今後とも地域の中で信頼される病院となれるように努力してまいります。



副院長兼看護部長 若林 稲美

新年明けましておめでとうございます。

昨年5月に新天皇が即位され、今年は令和になって初めての新年になります。新しい時代の幕開けは、これからますます世の中が変化し発展することを表わしているように感じます。

医療の世界の進歩も目覚しく、数年前まで当たり前に行われていたことも、患者さんの苦痛が少ないよう、働く者の効率がよいように、どんどん変化していきます。専門分化も進んでいます。そんな中、多くの進化の間の隙間に落ちてしまうようなことも、誰が担当とも言い難いことが増えているような気がします。私たち看護師はそんな隙間に落ちそうなことを、患者さんをはじめ当院を利用する方の立場に立って、丁寧に対応していきます。

健康に過ごしているときには、当たり前でできていることも、病気になると思ひ以上は不自由があり困惑することも多いと思ひます。当院は患者相談室等も用意しておりますが、相談室以外でも、私たち看護師にお気軽にお声掛けください。



健診センターのご紹介



人間ドックで健康寿命を伸ばそう

健診センター副センター長 消化器科副部長 高橋有香



当院人間ドックは、武蔵野赤十字病院に併設した健診センターです。

健診で精密検査が必要と判断された場合は、各科にご紹介し、専門医による精密検査を受け、その結果をもとに健診でも経過を見ていきます。又、一人一人の受診者の方の健康状態を把握しながら、健康診断を行い、一つ一つの検査結果を専門医がダブルチェックを行い、より精度の高い健診を目指しています。

何らかのご病気で外来通院をしている方、以前に当院の外来を受診した事がある方は、その結果もふまえて健康状態を把握し、健診結果に反映させています。又、受診者の方のご要望と、健康状況、検査結果をふまえて、今後どのような健診が必要か、どのように健康を維持していけばいいかについても、一緒に検討していきたく思ひています。

「土曜日」人間ドック

●平日は忙しくて！という方向け

仕事で忙しくて平日は健診が受けられないという方のために、土曜日の人間ドックを開設しました。



認知症ドック

●頭健康を意識する方向け

体だけではなく、頭の健康を意識する方向けに、認知症に重点をおいた認知症ドックはいかがでしょうか。



—申し込み方法—

電話予約または
直接健診センターへの来院予約
健康管理の一環として、武蔵野赤十字病院健診センターをご利用ください。
お待ち申しあげています。

★詳しくは病院ホームページ→
「人間ドックのご案内」で
ご紹介しています。



月曜日～土曜日 午前9時～午後4時
(但し年末年始12/29～1/3及び5/1は除く)

電話番号 0422-30-5638 (直通)
または 0422-32-3111 (代)

